

○神社 伊勢宮、境内東西十三間、南北一町、免除地。村東にあり、鎮座の年代をしらず。鳥居あり、本鄉村宗像出雲が司なり相殿十一座、稻荷神四座、一座は本村より移し、一座は上米塚村の端村出新田より移し、一座は上米塚村の端村出新田より移し、二座は上米塚村より移せり。明神二座、一座は下米塚村より移し、一座は下米塚村の端村出新田より移せり。伊勢宮、下米塚村より移せり。腰王神、同上。八幡宮、上米塚村より移せり。熊野宮、同上。湯殿神、同上。

○寺院 円城寺、境内東西十二間、南北十八間、年貢地。村中にあり、松林山と号す。開基詳ならず、旧は真言宗なり。寛永三年（一六二六）観誓と云僧住してより、府下大町融通寺の末山浄土宗となり、本尊弥陀客殿に安す。

○褒善 孝行者李之丞、文化二年（一八〇五）米を与えて賞せり。

二九、下米塚村および下米塚新田村

1、村の開発と観音寺由来 大川に沿う洪水常習地であるため、天文五年（一五三六）六月二十八日の白鬚水の洪水の話が今に伝えられ、大川はその時出来たともいつている。応永二十六年（一四一九）黒河川決潰のことが既にみえているから、現在の太川の流路はもっと前にできていたものであろう。

二日町の白山神社はもと下米塚にあり、洪水で流されて現在の地に落着いた。社殿が南向きになっているのはそのためであるとさえいつている人がある。少しこじつけが過ぎるようにもみえる。

村の中央に観音堂がある。御丈三五センチの聖観音が祭られている。その傍に現在公民館になっているのが、古聖山観音寺である。天正中（一五七三～一五九一）黙蔵王という僧が草創し、堂宇が荒廃したので、寛永元年（一六二四）長賢という比丘が中興したと、文化六年の風土記にみえる。現在のは元禄二年（一六九二）に建てかえたもの、観音堂は元禄十年（一六九七）に建てかえたと伝えている。村があまり古くないのか、大川筋の氾